



学校報「二中の木」



令和5年6月5日(月)
第4号 文責：校長 工藤 真弘
TEL：52-5138

スローガンは「Reboot」～ 生徒総会 ～ 生徒主体で創り上げた「新しい生活のきまり」を承認

先月中旬に生徒総会を行いました。今年のスローガンは「Reboot」再起動、これまでを仕切りなおして前に進もうという強い意志が伝わってきます。①生活のきまりの見直し、②全校が楽しめる企画の設定、③地域に誇れる学校づくりを重点施策に掲げ、活発な意見交換が行われました。



また、生徒総会終了後には、JRC登録更新式を行い、本年度も能代二中はJRC加盟校となりました。

○「生活のきまり」が創り出されるまで

生活のきまりの見直しについては、昨年度の生徒会執行部から引継ぎながら、生徒主体で取り組んできたものです。昨年、校長の私が旧執行部と新執行部にお願いしたのは、きまりの一部を変えるという考え方ではなく、自分たちに必要なきまりをゼロから創り上げるという発想でチャレンジしてほしいということでした。生徒達は、きまりの必要性、自分たちに必要なきまりについて、昨年から学級討議を重ねながら、意見の集約を図ってきました。

学級討議の中で自然に共有されていったのは「二中学生としての当たり前」ということでした。例えば、『生活のきまりには「あいさつをしっかりとる」という項目があるけど、二中学生にとってあいさつは当たり前のことだから、きまりにしないでいいんじゃないか』『靴下の色も、ピンクとか黄色を学校にはいてくるような二中学生はいないから、色の制限はいらないんじゃないか』といった討議が学級段階で行われてきました。体育着登校については、普段は自分で選択、制服を着るのはけじめをつける日として儀式、そしてテストの日という案を自分たちで創りました。

執行部が案を私にもってきて、何度か協議を重ね、「まずはやってみよう。10月末までお試し期間として、修正点があったら見直そう」ということになりました。

○後日談

生徒総会の次の日から体育着登校する生徒が増えました。ある日、3年生だけが朝から制服を着ていたの、どうしたのか尋ねると「今日は実力テストの日です」ときっぱり。私は、制服を着るべきテストの日というのは、中間や期末テストレベルだと思っていたので、実力テストを「けじめ」と判断している生徒達に感動しました。もちろん先生方は、テストだから制服を着なさいという指示は出していません。自分たちで決めたきまりを自分たちで判断して守るという心意気（生徒達に言わせるとこれも二中学生としての当たり前なんでしょうね）を感じた場面でした。

体育祭：テーマ「翔ける！轟け！二中魂！」

今年の生徒会の重点施策の一つ「全校が楽しめる企画の設定」として、新種目の追加を掲げていた体育祭。期日の延期と会場の変更により、予定していた綱引きなどはできませんでしたが、自分たちで考えた種目を存分に楽しみ、互いに応援しながら学級、全校の団結を深めることができました。

去年もでしたが、各学年3クラスということもあり、1～3年の縦割り応援が本校の特徴の一つです。学級の応援合戦に他学年もリアクションを入れる（もちろん審査対象外ですが）など、事前のネタ合わせやその場の盛り上がりで一体となった姿は、これもまた二中学生です。

